



## 2・5天神峰現地に集まろう！ 年内強制執行阻止し、団結旗開きに200人



旗開きのゲストの趙博さん、ユニット「いなのとひら・のどこば」の力強い歌声が響き、強制執行対象地でもある市東さんが耕す天神峰農地に熱気があふれた(1月8日)

みなさん。成田空港会社(NAA)は成田市天神峰の市東孝雄さんの農地取り上げ強制執行を昨年内にも完了しようと矢継ぎ早に攻撃をかけてきました。私たちは24時間態勢での座り込みや緊急署名を呼びかけ、学生をはじめ全国の仲間と共に農地を守り抜き、今も闘いを継続しています。

1月8日には強制執行対象地で新年団結旗開きを行い、集まった200人の参加者と市東さんの農地を守り切る誓いを新たにしました(2面に市東さんの発言、3面に闘争宣言)。

年末年始にかけて市東さん宅周辺で強制執行に向けた工事(2面)が行われるなど状況は緊迫しています。

強制執行反対!の緊急署名、天神峰現地での座り込みへのご協力を。2・5現地闘争に集まって下さい。



強制執行実力阻止! 空港用地内を意気高くデモ

### 市東さんの農地を守ろう!

## 2・5天神峰現地闘争

2月5日(日)

午後1時 市東さん宅中庭集合  
集会終了後、空港へ向けてデモ

# 強制執行反対! 緊急署名にご協力を





## 「来るなら来いの意気込みで一日も長く農地を守る」 市東孝雄さん（旗開きの発言から）

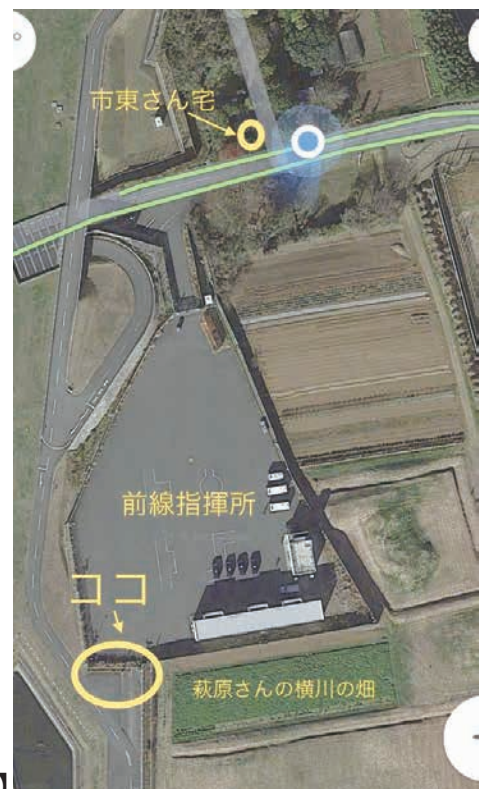
この畑で団結旗開きをできたことをうれしく思います。

皆さんの団結の力でなしえたことだと思います。今年いつ執行が来るか分かりません。向こうの土俵ですので、こちらは「来るなら来い」という意気込みで皆さんと共に闘いたいと思います。

私がここに帰ってきて、親父の追悼式で壇上から発言して20年以上経ちました。「闘魂ますます盛んなり」の言葉を大事にして闘うと誓いました。この間、皆さんとともに闘ってきて今、成果が出ていると思います。今あらためて、皆さんの団結、労働運動をはじめとする力、市民、学生さんの力を借りて一日も長く農地を守り続けるという覚悟でいます。沖縄・福島・三里塚を一つの闘いとして闘っていきます。農地を守ることが命であるということ、それを念頭にこの一年皆さんと楽しく闘っていきましょう。今年一年皆さん、明るい闘いができるように共に闘ってきたいと思います。

# 強制執行準備工事を許すな！

市東さん宅前にある機動隊の前線指揮所周辺の工事が進められています。強制執行を「円滑かつ確実に」（NAAの田村社長）行うための準備工事であり断じて許すことはできません。共に抗議の声を上げてください。



樹木を伐採し指揮所から市東さん宅と畑が丸見えに【左上】指揮所のフェンスのかさ上げ工事【真ん中上】フェンスの一部を切り取り扉を設置【左下】前線指揮所と空港の間に工事車両等の搬入ゲートを設置【真ん中下】市東さん宅と前線指揮所の位置関係【右】

## 闘争宣言 2023

57年目の三里塚闘争は、市東さんの天神峰農地への強制執行攻撃との闘いの渦中で新年を迎えた。11月24日からの臨戦態勢24時間座り込み闘争により、現在まで46日間守り抜いている。決戦本部は年末4日間決戦を構え、年内執行を実力で粉碎した。全国から結集した学生がこの闘いの先頭に立った。まさに「人は石垣、人は城」である。この態勢を永続的に維持・発展させ、強制執行攻撃を粉碎しよう！

岸田政権は実質改憲というべき安保政策の大転換に踏み込んでいる。安保3文書改定は中国に対する戦争宣言である。5年間で43兆円もの大軍拡で、中国への攻撃能力を構築するという戦争国家への大転換だ。絶対に許してはならない。この動きと連動して、成田空港会社は更なる機能強化に向けて「新しい成田空港」構想をぶち上げ、ターミナルの統合、貨物地

区の整備、鉄道・道路のアクセス改善など、空港全体を造り直す計画を明らかにしている。この構想は、浜田防衛相が成田空港と下地島空港の軍事使用を明言しているように、「機能強化」に名を借りた「軍事転用計画」である。

岸田政権の戦争準備と一体となった成田空港の軍事空港化を粉碎しよう。沖縄・辺野古をはじめとする全国の反戦反基地運動と連帯して、ウクライナ戦争反対、軍拡反対、改憲阻止へ闘おう。原発60年稼働を許さず、全ての原発廃炉へ闘おう。食糧危機を招く農業破壊や環境破壊に反対しよう。地球環境を守り、軍事利用に反対する空港拡張反対署名を発展させ活用しよう。あらゆる差別や抑圧に立ち向かい、労働運動弾圧を跳ね返し、岸田政権打倒へ共に闘おう！

2023年1月8日

# 成田の軍事使用絶対反対！

昨年末に閣議決定された「国家防衛戦略」で、平時の段階から自衛隊・米軍による民間空港の共同使用の拡大が明記されました。

米海兵隊は13日、沖縄の下地島空港を月末から軍事訓練に使いたいと県に申請。今回は使用が見送られましたが、浜田靖一防衛大臣は20日、「自衛隊があらゆる空港を運用できることが重要」と確認しています。浜田大臣は昨年12月の国会質疑で、軍事使用に制約があると下地島と並び成田を名指し、「滑走路が長い空港(成田のこと!)は部隊の運用上の有効性が高い」と、地元自治体に圧力をかけています。断じて許すことはできません。戦争絶対反対の声を上げましょう。



軍民共用の百里飛行場(茨城空港)で16日からインド軍と初の戦闘機の共同訓練が開始

戦争のための空港拡張を許さない



※ネット署名はこちらから署名用紙は反対同盟のホームページからダウンロードできます。



# 地域住民の声

今回は千葉県習志野に住む仲間から。天神峰カフェや座り込みに参加。市東さんの生き方に触れた感想です。

## ◆座り込みを経験しよう。 閉塞した社会を打ち破る 何かを得られるだろう。

習志野市 女性

三里塚闘争は、映像がいっぱい残っていて観るとびっくりする。

今日に至るまで、政府や空港会社は一貫して、卑怯で姑息で…、今も市東さんを24時間監視し、車で耕作地付近をパトロールしている。

市東さんのところに、空港会社が1億8千万円持ってきて、「これはあなたの年収150年分ですよ」と懐柔しようとした。そのときに市東さんは「いや、俺の人生は1本100円の大根を作って生きること

なんだ。お前の勝手な計算をするな」と言ったそうだ。めちゃカッコいい。1億8千万は、税金だ。空港は暴力でできたが、まだ未完成の欠陥空港だ。これ以上、私たちの血税を使うな。

現地で座り込むということの清々しさ。市東さんは、ギラギラした活動家ではなく、天気や土や野菜を気にかけている普通の農民だ。その農地は、市東さんの土地だが、私たちのものでもある。戦争をやろうとしている政府のものではない。

権力なんて支えてやらなければ、自分の重みで自壊する。軍事空港を認めるなんて無理でしょ。農地なんだもの。

昔の映像で感動したことが、もう一つある。旧国鉄の労働組合、千葉動労が、空港にジェット燃料を運ぶことを拒否して、貨車を止めちゃったこと。総武線ストップで電車がずらっと並んで動かない。ただの農民一揆ではないほどの広がりがあった。三里塚は、一人ひとりの生き方を問うている。座り込みを経験してみよう。閉塞した社会を打ち破る何かを得られるにちがいない。

## 1・29天神峰カフェにご参加を

1月29日(日)正午、成田市天神峰の市東さん宅離れで天神峰カフェを開催します。緊迫した状況ですが、現地に一人でも多くの方に駆けつけていただくことが強制執行を阻止する力になります。ぜひご参加を。

◎お問い合わせは

太郎良(たろうら)陽一

090(1855) 8189まで。



世代をこえて会話が弾んだ(1月15日)